ジュリアス・シーザー（1953）

JULIUS CAESAR

メディア 映画
ジャンル 歴史劇
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 120分
初公開日 1953/12/06
公開情報 ＭＧＭ

【解説】

シェイクスピアの戯曲を忠実に映画化。紀元前４４年のローマ、シーザー（カルホーン）は帝位に就こうとして、反シーザー派カシウス（ギールグッド）、カスカ（オブイエン）たちの反対にあい、親友ブルータス（メイスン）にも裏切られて殺された。共和制を守るという大義を持っていたブルータスは、シーザーの信奉者アントニー（ブランド）の追悼演説によって謀反者の烙印を押され、反シーザー派と共にローマを追われる。結局、彼らはハイリボの決戦でアントニーに敗れ、カシウス、ブルータスは自決した。女優陣は、シーザーの妻にガースン、ブルータスの妻にカー。アカデミー賞の〈白黒〉美術監督賞、ナショナル・ボード・オブ・レヴュー賞の作品賞・男優賞（メイスン）、英アカデミー賞の英国男優賞（ギールグッド）・外国男優賞（ブランド）を受賞。前記の演技賞受賞３者はキャスティングの妙もあって秀逸、マンキウィッツもキャリアの絶頂期にあたり演出は手堅く、とくにアントニーの演説シーンのローマ市民の次第に興奮するカット・バックあたりは映画ならではの演出。オーソドックス故、非常に野心的足りえた作品。

【クレジット】

監督	ジョセフ・Ｌ・マンキウィッツ	Joseph L. Mankiewicz
製作	ジョン・ハウスマン	John Houseman
原作	ウィリアム・シェイクスピア	William Shakespeare
撮影	ジョセフ・ルッテンバーグ	Joseph Ruttenberg
音楽	ミクロス・ローザ	Miklos Rozsa
出演	ルイス・カルハーン	Louis Calhern
	ジョン・ギールグッド	John Gielgud
	ジェームズ・メイソン	James Mason
	マーロン・ブランド	Marlon Brando
	グリア・ガーソン	Greer Garson
	デボラ・カー	Deborah Kerr
	エドモンド・オブライエン	Edmond O'Brien
	ジョージ・マクレディ	George Macready
	マイケル・ペイト	Michael Pate
	アラン・ネイピア	Alan Napier
	イアン・ウルフ	Ian Wolfe
	ダグラス・ダンブリル	Douglas Dumbrille
	エドマンド・パードム	Edmund Purdom
	マイケル・アンサラ	Michael Ansara

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.